

# 連合神奈川青年委員会役員研修レポート

運輸労連神奈川県連

徳留 宏光

～全体を通じて～

今回の役員研修は、洋上風力発電について学ぶことが決まり、場所については洋上風力発電が日本で盛んに行われている秋田県に決まりました。これまで「再生可能エネルギー」や「カーボンニュートラル」という言葉は聞いたことがありましたが、内容や重要性については漠然としたイメージでしか捉えられていませんでした。

しかしながら運輸労連という産別に所属している以上、カーボンニュートラルや再生可能エネルギーは重要な取り組むべきテーマでもありますし、今後重要性がさらに増してくることが想定されることから、避けては通れない課題だと感じていました。

研修初日は洋上にそびえる風車を遠くからではありましたが見ることもでき、また、陸上に建てられた風車については特別に間近で見学し、風力発電について肌で触れることができました。風車には様々な工夫が施され、陸と海でも構造が違うことなど研修を受けなければ知ることができなかった事柄が多く盛り込まれ、大変参考になりました。

今後の風力発電の展開には課題も多く残されているとのことでしたが、日本における発電シェアを拡大していくことについては、再生可能エネルギーの展開という観点からも伸びていくことが予想され、注目していきたいと考えています。

夜の懇親会では、連合秋田の井上副会長をお迎えし、美味しい食事やお酒を堪能することが出来ました。新型コロナウイルス感染症対策のため席の移動が出来ず、残念な部分もありましたが、満足のいくものとなりました。

2日目については、ジオパークやなまはげ館など秋田県の歴史や郷土文化についてふれました。秋田県について予備知識はありませんでしたが、ガイドの方の詳しい説明を受けることが出来ましたので、見識を深めることが出来ました。

今回の役員研修は「カーボンニュートラル」や「再生可能エネルギー」について学んできました。

青年委員会としてこれらについて見識を深めることで、今後の日本のエネルギー政策を考えるいい機会となりました。単組や産別に今研修内容を持ち帰り展開していこうと考えています。

今後についてもこうした活動を継続していくべきだと考えますので、幹事会で検討していきたいと思います。

